

慶應言語学コロキウム

ヒトは自らの問いにどこまで答えることができるのか
『チョムスキー 言語の科学:ことば・心・人間本性』をめぐって

講師:成田 広樹 氏(東海大学講師)

日時:2016年9月10日(土)・11日(日)13:00-18:30

会場:慶應義塾大学三田キャンパス北館3階大会議室

参加費無料 申込不要

言語の科学(生成文法研究)が過去半世紀の間に培ってきた知見は、言語の本質について多くのことを教えてくれるばかりでなく、言語をその認知構造の中核に据えたヒトという生物種の本性についても多くの示唆を与えてくれるものである。本セミナーでは、特に『チョムスキー 言語の科学:ことば・心・人間本性』(岩波書店, 2016年刊行)にて展開された議論の講読に依拠しながら、ことば・心・人間本性をめぐる科学探究の射程と限界について考察していきたい。以下に講師が予定している演題の概略(一部)を示すが、コロキウム当日はむしろそれにとらわれず、参加者同士で自由にディスカッションを行なっていきたい。

9月10日(土)

- ・我々ヒトが有効に問うことができる問題は何か
- ・言語の科学はどこまで可能か
- ・併合(Merge)の概念はどこまで射程を広げることができるのか
- ・極小主義プログラムの位置付けは何か

9月11日(日)

- ・心の科学はどこまで可能か
- ・我々は常識をどこまで克服できるか
- ・人間本性の科学はどこまで可能か
- ・人間の認識の限界を前に我々はいかに研究を進めるべきか

『チョムスキー 言語の科学:ことば・心・人間本性』(岩波書店, 2016年刊行)を持参されることを勧める

主催:慶應義塾大学言語文化研究所
協力:慶應義塾大学次世代研究プロジェクトB

<お問い合わせ先>

〒108-8345 港区三田 2-15-45 慶應義塾大学言語文化研究所

電話:03-5427-1595(事務室直通) メール: genbu@icl.keio.ac.jp

<http://www.icl.keio.ac.jp>